

きいて・めもして・こたえよう

むかしあそ めいじん はなし
昔遊び名人のおじいさんの話

なまえ
名前

聞くめあて

あそ しゅるい ばんごう
「遊びの種類」と「こつ」を、番号をつけてメモしましょう。

①

②

③

④

⑤

ほうそう
放送が終わったら、
ひら
開いて問題に
もんだい
答えましょう。

(1) こまの ひもは、どのように まきますか。あう ものに ○を つけましょう。

ア 下から 上へ きっちり

イ 上から 下へ ゆるく

ウ まかなくて よい

(2) こまを なげる ときの こつは 何ですか。力を どう しますか。

(3) けん玉で、玉を のせる とき、どこを やわらかく つかいますか。あう ものに ○を つけましょう。

ア ひざ

イ 首

ウ かた

(4) 上たつの いちばんの 近道は、どんな ことですか。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

昔遊びの 名人、地いきの 山口のおじいさんに、こまと けん玉の こつを 教えてもらいました。

「まず、こまです。ひもは、こまの じくに、下から 上へ、きっちりと まきます。ゆるいと、うまく 回りません。」

「なげる ときは、うでを まっすぐ のばして、手首を すっと 返します。力を入れすぎないのが こつです。」

「次に、けん玉です。玉を のせる ときは、ひざを やわらかく つかって、体ぜんたいで リズムを とります。目は、玉を ずっと 見つづけます。」

「うまく いかなくても、あきらめずに 何度も やる ことが、上たつの いちばんの 近道ですよ。」

メモのれい

こま ひも 下から上へきっちり（ゆるい×）

なげ うでまっすぐ・手首返す（力すぎ×）

けん玉 ひざやわらかく・目は玉を見つづける

上たつ あきらめず何度も

こたえと かいせつ

(1) ア（下から 上へ きっちりと）

「ひもは、こまの じくに、下から 上へ、きっちりと まきます」と 言っていました。

(2) 力を 入れすぎない

「力を 入れすぎないのが こつです」の 部分です。うでは まっすぐ、手首を 返します。

(3) ア（ひざ）

「ひざを やわらかく つかって、体ぜんたいで リズムを とります」と 言っていました。

(4) あきらめずに 何度も やる こと

「あきらめずに 何度も やる ことが、上たつの いちばんの 近道」の部分です。